

子どもの日本語教育研究会研究・企画委員会
プロジェクトA 活動報告対話を通して実践の意味を探る
—実践を伝える・実践から学ぶ視点の検討—

1. 本報告会の趣旨～プロジェクトAについて～

子どもの日本語教育研究会の研究・企画委員会には実践について考える「プロジェクトA」と実践と研究の橋渡しを目指す「プロジェクトB」があります。昨年の第6回大会ではプロジェクトBの活動報告「子どもの「ことばの学習」をデザインするー「参加とことば」の視点から」が行われました。その内容はぜひ子どもの日本語教育研究会 HP (<https://www.kodomo-no-nihongo.com/kodomo/archives/82>) でご覧ください。

プロジェクトAは「実践から学び、新たな実践・研究につなげていくには？」をテーマに活動をしています。2020年3月14日のオンラインでの活動報告では、プロジェクトチームとしての検討課題ととらえている「実践をどのように見、どのように記述するか」について、実践事例に基づいて報告し、議論につなげました。そして、「何のための実践か」という、現状の課題から出発した実践の記述が重要であることや、そうした実践を集めることが「実践から学ぶ」ことにつながるという点を再確認しました。

その後、チーム内で話し合いを重ねる中で、発表者や書き手が実践で伝えたかったことが読み手に伝わっているのか、またさまざまな立場の受け手によって読みとり方の違いがあるからこそ、実践の理解がさらに深まっていくのではないかということに議論が至りました。そこで、チーム内で同じ実践報告を読み議論をしながら、前者については「実践から学ぶ」ことができる記述には何が必要かを考えてきました。後者についても、ワークショップを行い、「読む」だけでなく、実践者をお招きして直接対話をする中でその実践の意味をともに考えたところ、実践者、参加者双方に新たな気づきが得られ、同時にその実践の意味づけに対する共通認識が生まれました。こうした活動を通して「読み手」間、「実践者」と「読み手」の間の対話により実践を見る新たな視点を得ることの意義を改めて確認することができました。

そこで、今回の報告では、実践者が何をどのように伝えようとしたのか、それは多様な立場の受け手にどう伝わっているのか、実践者・受け手はそれぞれどのような視点をもってその実践を見ているのかを対話の中で再確認することにより、その「実践の意味」をより深く考えていきたいと思います。この活動に多くの方にご参加いただくことで、実践の多様な意味づけがなされ、それをまた整理していくことで次の活動につなげたいと思っています。

本日はプロジェクトAで行っている「チーム内ワークショップ」を皆様に開いた形で実施します。チーム内では、実践の意味に迫り議論を深める質問とは？ということもあわせて話し合ってきました。ぜひ皆様も「この実践の意味は？それを知るためにすべき質問は？」「自分はどのような視点からこの実践を見ているだろう？」等と考えながらご参加ください。

菅原雅枝（愛知教育大学・プロジェクトA チーフ）

2. 報告会の概要と登壇者の紹介

公立小学校の外国人児童在籍学級における国語の授業実践をめぐって、実践者とプロジェクトAメンバーがディスカッションをしながら、ともにこの実践の意味を探っていきます。皆様からのご質問は、チャットを使用してお寄せいただく予定です。

- プロジェクトA活動報告 全体進行：村澤慶昭（武蔵野大学）
- 実践報告：「公立小学校在籍学級での教科指導における外国人児童への日本語支援」
報告者：浜松市教育委員会 古橋水無さん

※事前に次の実践発表の要旨を読んでご参加ください。

第5回大会 発表4「公立小学校通常学級での教科指導における外国人児童への日本語支援—3年 JSL 国語科「たから島のぼうけん」考えた物語を自分の選んだ方法で発表しよう—」

<https://www.kodomo-no-nihongo.com/archive/archives/14>

- ディスカッション
 - ・登壇者の立ち位置の自己紹介と「対話」への準備
これまでのプロジェクトAの活動をもとに、メンバーがそれぞれの立ち位置から実践者に質問したい内容をお話しします。
 - ・実践者と登壇者、参加者の「対話」
同時に参加者のみなさんからもご質問も受けつけ、「対話」を深めます。

【登壇者】

実践報告者	古橋 水無（浜松市教育委員会）
プロジェクトA	青木 由香（NPOアレッセ高岡）
	今澤 悌（甲府市立大國小学校）
	工藤 聖子（文教大学）
	高柳 なな枝（地球っ子クラブ2000）
ディスカッション進行	池上摩希子（早稲田大学）

- まとめ

【プロジェクトAメンバー（五十音順）】

青木由香（NPOアレッセ高岡）、池上摩希子（早稲田大学）、今澤悌（甲府市立大國小学校）、大菅佐妃子（京都市教育委員会）、工藤聖子（文教大学）、菅原雅枝（愛知教育大学）、高柳なな枝（地球っ子クラブ2000）、築樋博子（豊橋市教育委員会）、古川敦子（津田塾大学）、村澤慶昭（武蔵野大学）、横溝亮（横浜市立鶴見小学校）